

資料2

市長とドンドン語ろう！
～次期総合計画策定に向けて～

in 北区

熊本市の未来について考える

▼総合計画についての詳細はコチラ



令和5年7月28日(金)18時～
会場：植木文化センター

総合計画とは

- ✓ 都市が目指す将来像を描くとともに、その実現のためのまちづくりの方向性や主な施策を定めた長期的な計画で、市政運営の基本指針となり、全ての計画の最上位に位置づけられる計画
- ✓ 現在の第7次総合計画は、令和5年度を最終年次としている。
(計画期間:平成28年度～令和5年度)※令和元年度に中間見直しを実施
→現在、次期総合計画(令和6年度～13年度)策定に向け検討を進めている。

熊本市のめざすまちの姿(第7次総合計画より)

市民が住み続けたい、
誰もが住んでみたくなる、
訪れたくなるまち
「上質な生活都市」



テーマ1 こども・子育て

テーマ2 TSMCの熊本進出

テーマ3 交通

テーマ4 災害・防災

テーマ5 本庁舎等の整備

テーマ6 その他

テーマ 1

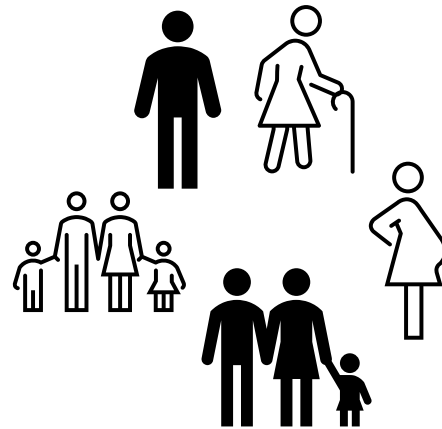
こども・子育て

未来を担うこどもたちに
必要なことは？

出産・子育てに悩みがある…

どうやったらこどもが増える？

学校教育に求めることは？
(望ましい学校とは？)



【こども・子育てに関する課題と目指す姿】

〔現状・課題〕

- ◆ 未婚化・晩婚化などの複雑化した課題が出生率の低下に影響
- ◆ 子育て家庭が孤立するなど、こどもと親を取り巻く環境は厳しさを増す
⇒妊娠・出産・子育て等、ライフステージに応じた切れ目のない支援が必要
- ◆ 児童虐待に関する相談件数の増加とともに、経済的困窮、不登校、ヤングケアラー等、こどもをめぐる複雑な課題の存在が明らかになっている
- ◆ 保育の担い手不足・保育の質の確保
- ◆ 学校現場における不適切な指導等
- ◆ 教員不足によりこどもの学習環境への支障。教員志願者は減少傾向
- ◆ 不登校児童生徒は増加傾向にある
- ◆ 子育て世代の生活圏郊外化



すべてのこどもが幸せを実感できる都市へ

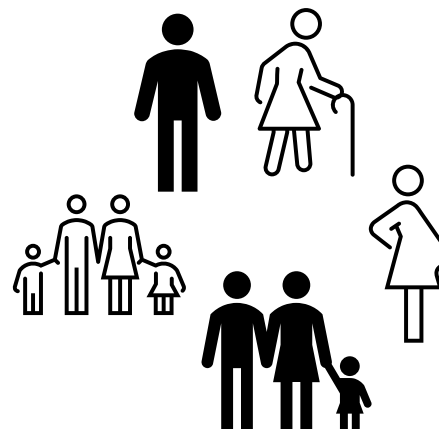
テーマ 2

TSMCの熊本進出

TSMC進出によって
私たちの生活はどう変わるの？

このチャンスを熊本市の発展に
活かすアイデアは？

外国人の方とうまく
やっていけるだろうか？



TSMCが進出することで
渋滞がひどくなることが心配…

地下水汚染・枯渇や農業用地の
減少が心配…

【TSMCの熊本進出に関する課題と目指す姿】

〔現状・課題〕

- ◆ 半導体関連産業の集積等を見据えた戦略的な企業誘致の展開
- ◆ 地域経済の更なる発展に向けた、中小企業・小規模事業者の経営基盤強化とスタートアップ等の成長段階に応じた伴走型支援の強化
- ◆ 若年層の地元定着や移住促進などの雇用施策の強化
- ◆ TSMCの熊本進出による交通渋滞、周辺環境の変化
- ◆ 外国人が地域社会の構成員として共に生きていくための多文化共生社会の形成
- ◆ 熊本連携中枢都市圏や県北地域の物流・人流の拠点である熊本港の活用



半導体産業の振興を契機とし、九州の拠点都市としての発展を目指す

テーマ 3

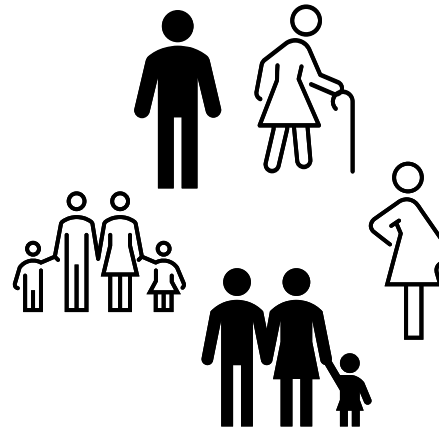
交通

車から公共交通への
転換に向けたアイデアは？

交通渋滞の解消に向けた
アイデアは？

「10分・20分構想」って何？
ずっと先のことでしょう？

市電延伸の必要性は？



〔現状・課題〕

- ◆ 交通事業者の経営悪化、運転士不足が深刻化
⇒特にバス事業においては路線、便数の維持が難しくなっている
- ◆ 電停のバリアフリー化が未了の箇所については、電停が狭いため人が溢れるなどの危険な状態が発生
- ◆ 少子高齢社会の進展により人口は減少する一方で、交通弱者である高齢者は増加
- ◆ 主要渋滞箇所数が3大都市圏を除く政令指定都市でワースト1
⇒交通渋滞が常態化しており、市民生活や経済活動に大きな影響を与えている



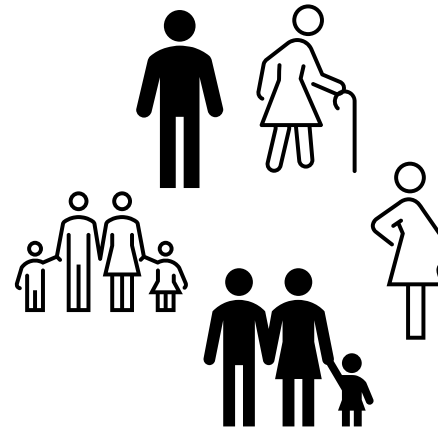
物流と人流を支える都市基盤・交通基盤の形成を実現する

テーマ 4

災害・防災

大雨が降った時の自宅周辺の
浸水状況はどうなるの？

街中の老朽化した
ビルや建物が心配…



高齢者や一人暮らしの方の
避難が心配…

震災の記憶が風化している…

【災害・防災に関する課題と目指す姿】

〔現状と課題〕

- ◆ 激甚化・頻発化する自然災害
- ◆ 新たな感染症の脅威
- ◆ 高齢者単独世帯の増加、介護需要の増加
⇒避難行動要支援者・災害時要援護者の増加
- ◆ 既存ストック(民間ビル・市本庁舎・橋梁・公園・野球場等)が老朽化し更新期を迎える
- ◆ 中心市街地の中高層建築物の老朽化
- ◆ 熊本地震の記憶や教訓を忘れがちになっている
- ◆ サイバーテロ、国際紛争など様々な危機事象が想定される



すべての危機事象から市民を守る・災害に強い都市

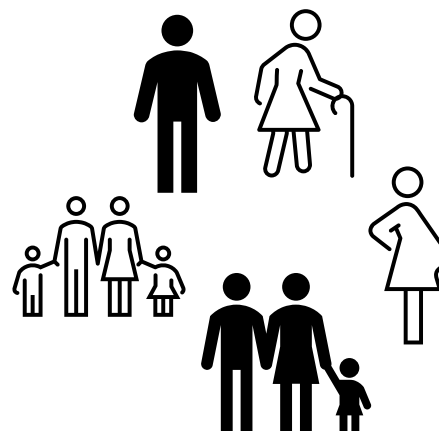
テーマ 5

本庁舎等の整備

本庁舎の役割や現状って？

災害が起こったらどうなるの？

有識者会議ってなに？



なぜ建て替えるの？

市民の意見って聴かないの？

- 昭和56年竣工（1981年）に竣工〔現在 築42年〕
- 本庁機能、議会機能、中央区役所機能を有している
- 本庁舎等には約2,700人の職員が従事
- 中央区役所は1日平均約1,200人の市民の皆さまが来庁





外気ファンの劣化



排水管の劣化



漏水による天井の水染み

建設当時

昭和 56年
(1981)

現在

令和 5年
(2023)

42年

人 口

529,590人

約 1.4倍

736,245人

職員数
(教職員除く)

5,700人

約 1.7倍

9,900人

予 算
(一般会計)

990億円

約 3.8倍

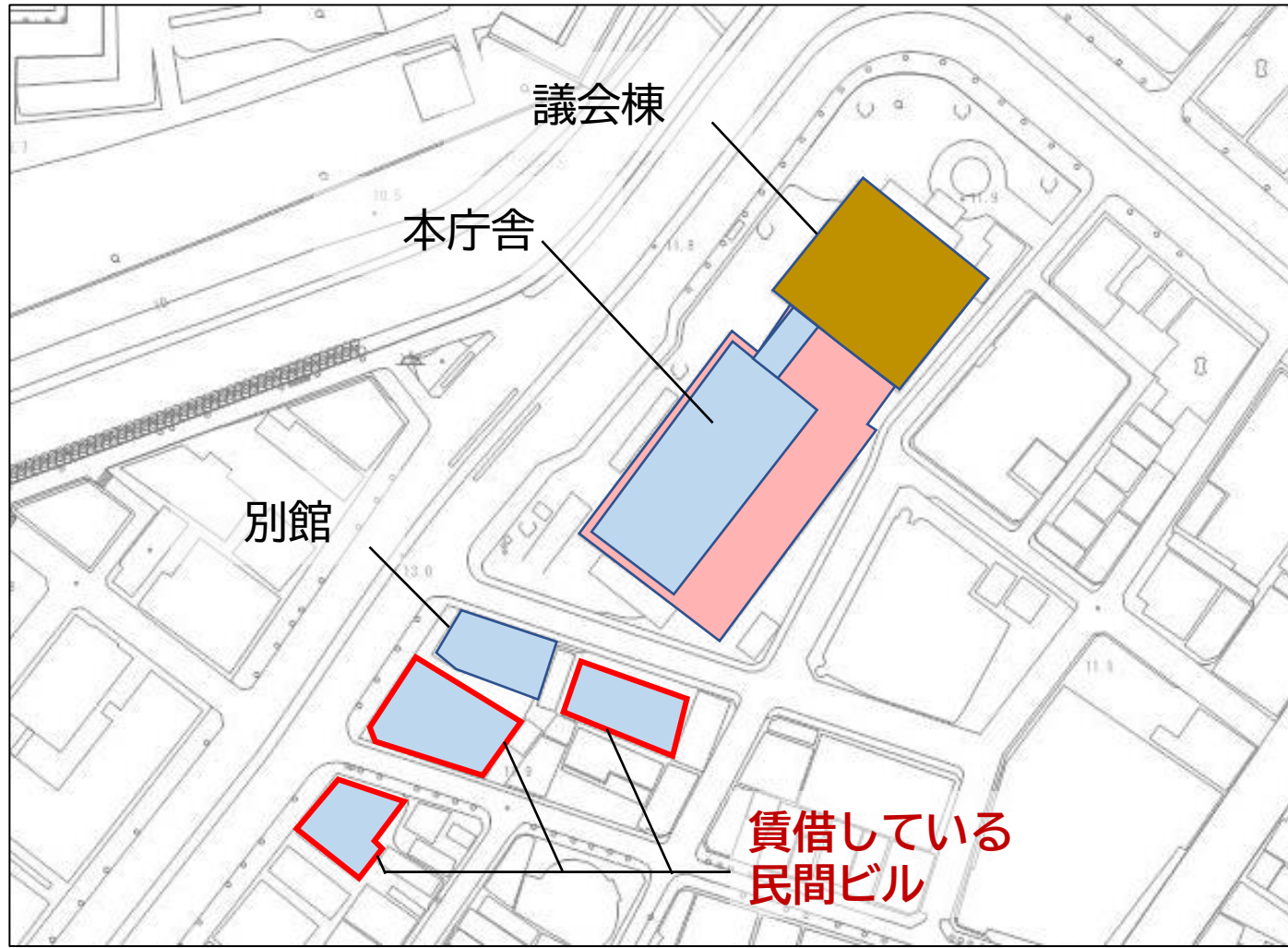
3,815億円



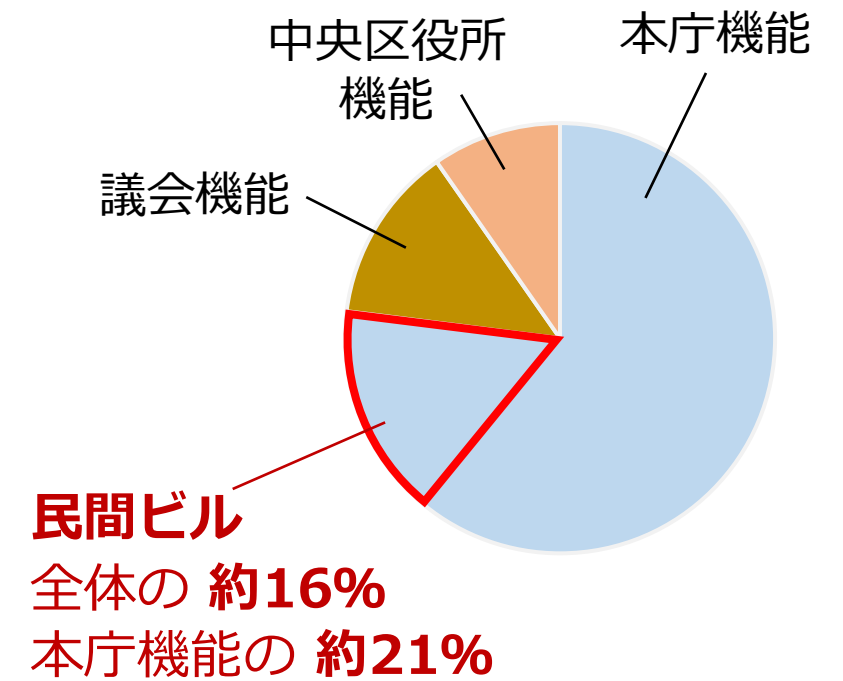
混雑した待合スペース



狭あいな執務室



現在の本庁舎等の位置図







庁 舎

熊本市 本庁舎



災害対応スペースの様子



災害対応スペースの面積

常設 340m² 大規模災害時 + 160m²

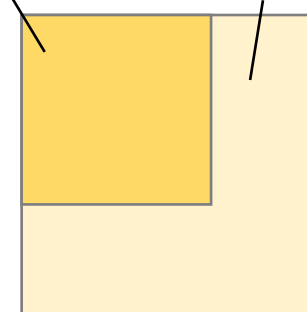


大規模災害時の全体面積
500m²

熊本県 防災センター



常設 2,637m² 大規模災害時 + 4,011m²

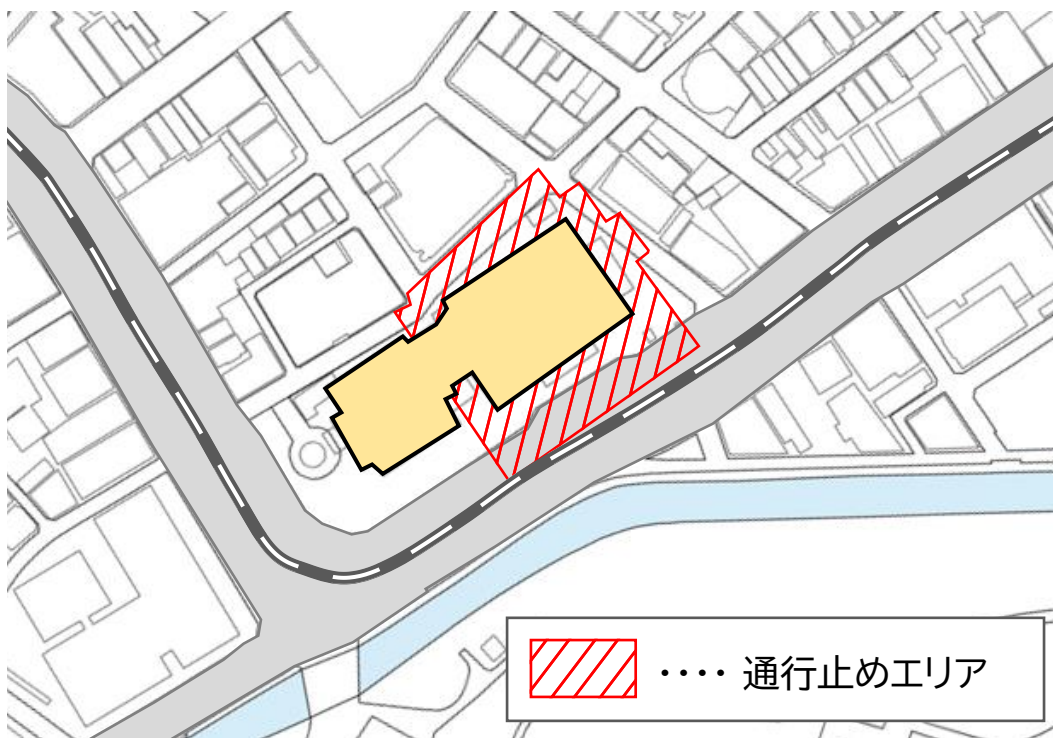


大規模災害時の全体面積
6,648m²

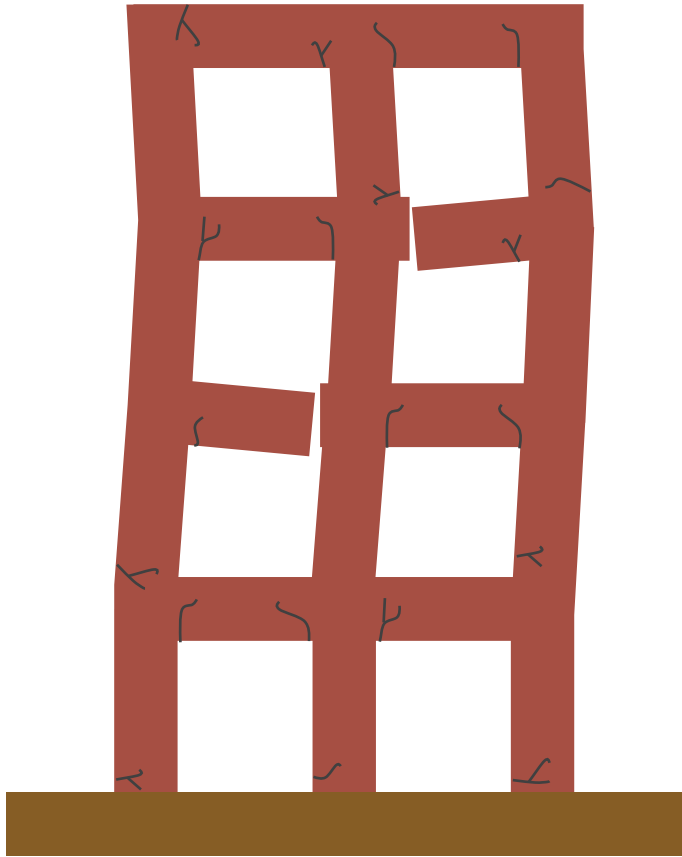
耐震性能調査を実施
(平成29年度)
(令和2年度)

- 現庁舎は耐震性能が不足している
- 現庁舎の耐震補強は実現性が低い

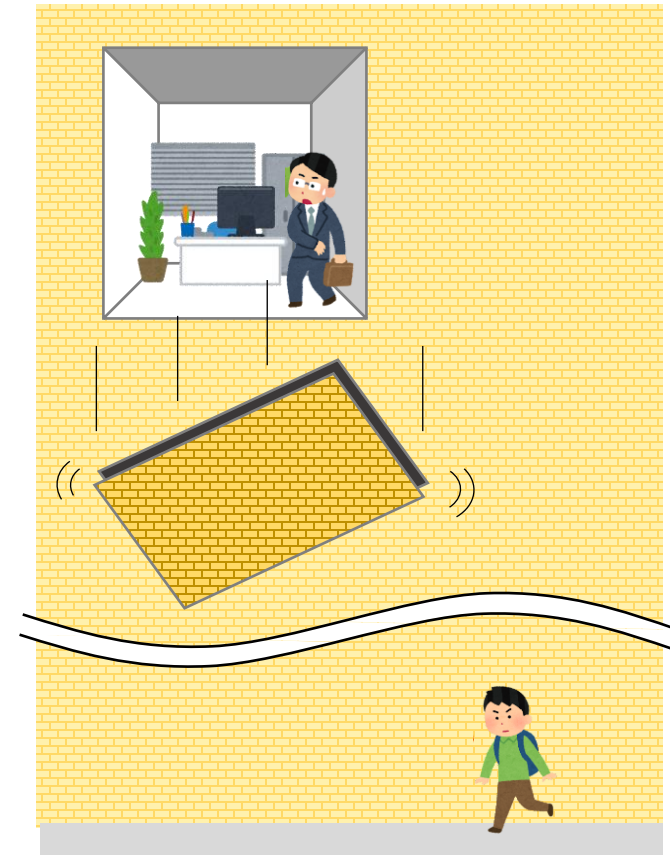
耐震補強を行う場合に必要な工事スペース



今後、平成28年の熊本地震よりも大きな地震が発生する可能性が高い



構造体の損傷・破断



外壁落下

熊本地震を契機として整備を行った他都市の庁舎

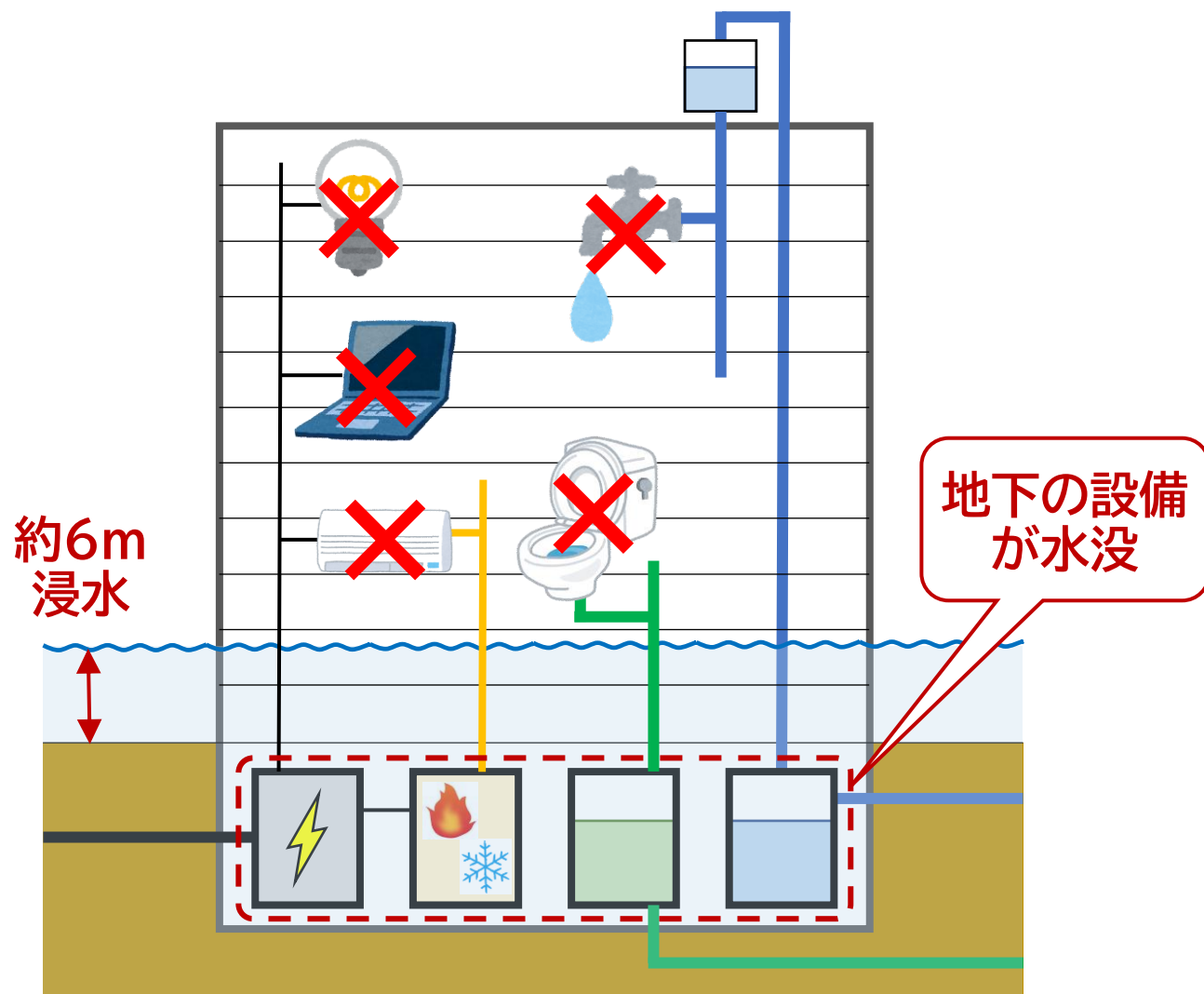
都市名	耐震・制振・免震の別
熊本県(防災センター)	免震
八代市	免震
天草市	免震
宇土市	免震
大津町	免震
益城町	免震
人吉市	免震
水俣市	免震

八代市 本庁舎





気候変動により、水害のリスクが高まっている（現庁舎では約6m浸水）



地下の設備を浸水しない階へ
移設するには...

法律上、
耐震補強も併せた改修が必要

耐震補強は実現困難

地下の設備の水没による
リスクを改善できない

本庁舎の機能が継続しないと（停止すると）、
市民の皆さまの生活に直結するさまざまなサービスの提供が困難となる



避難所の設置・運営



応援の受入、物資等の輸送・供給



災害・避難情報などの発信



被害家屋調査・り災証明



廃棄物の処理



応急仮設住宅の整備



建物の応急危険度判定



公共インフラ被害への対応
等

		設備のみ改修	建替え
事業費		約 222.9 億円	約 431.5 億円
老朽化への対策		○	○
狭あい化への対策		×	○
災害時リスク への対策	地震	×	○
	水害	×	○

※事業費は、「本庁舎等整備に関する基本構想（R2.3）」の数値

- 老朽化により大規模改修が必要

- 平成28年熊本地震発生

- 耐震性能調査の実施（平成29年度）

- ・ 耐震性能が不足している
- ・ 耐震改修は実現困難

- 特別委員会での専門家のご意見

専門家A：耐震性能あり
専門家B：耐震性能なし

本庁舎等整備の在り方について 諮問

諮問事項

- ・ 防災の観点からの在り方（耐震性能調査の検証含む）
- ・ 財政への影響
- ・ 資産マネジメントからの在り方
- ・ まちづくりからの在り方
- ・ その他必要な事項



予断をもたず、建替えの是非を含め、客観的かつ専門的な立場からご審議いただきたい

熊本市本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議

※防災や財政など各分野において、全国的に活躍されている優れた識見を有する方に委嘱

耐震性能調査の検証

調査は適切に行われており、現庁舎の耐震性能が不足するという結果は妥当

防災

災害時に防災拠点として機能継続できることが重要

財政

市の財政状況は今後も健全な水準で推移していく見込みと評価

まちづくり

施設単体にとどまらず、周辺のまちづくりと一体となった検討が重要

資産マネジメント

民間企業のノウハウや資金の活用
の検討は重要

市民の合意形成

検討の各段階において適切な方法で合意形成を図ることが重要

有識者会議の建替えの是非についての見解

現庁舎が防災拠点として
機能できない可能性
(耐震改修は実現性が低い)



現庁舎の狭あい化による
市民サービス・業務効率の低下



将来の変化に対応するため
機能転換の容易性が重要



建て替えるべきであるという結論に至った

総合的に判断

建て替える方針で進める



1. とても感じる 2. やや感じる 3. どちらともいえない
4. あまり感じない 5. 全く感じない

問 41 あなたは、熊本市は適切な土地利用により良好な市街地が形成され、
(1 つだけ)

1. とても感じる 2. やや感じる 3. どちらともいえない
4. あまり感じない 5. 全く感じない

問 42 あなたは、熊本市は都市基盤（河川、道路、公共交通、公園、上下
快適であると感じますか。（1 つだけ）

1. とても感じる 2. やや感じる 3. どちらともいえない
4. あまり感じない 5. 全く感じない

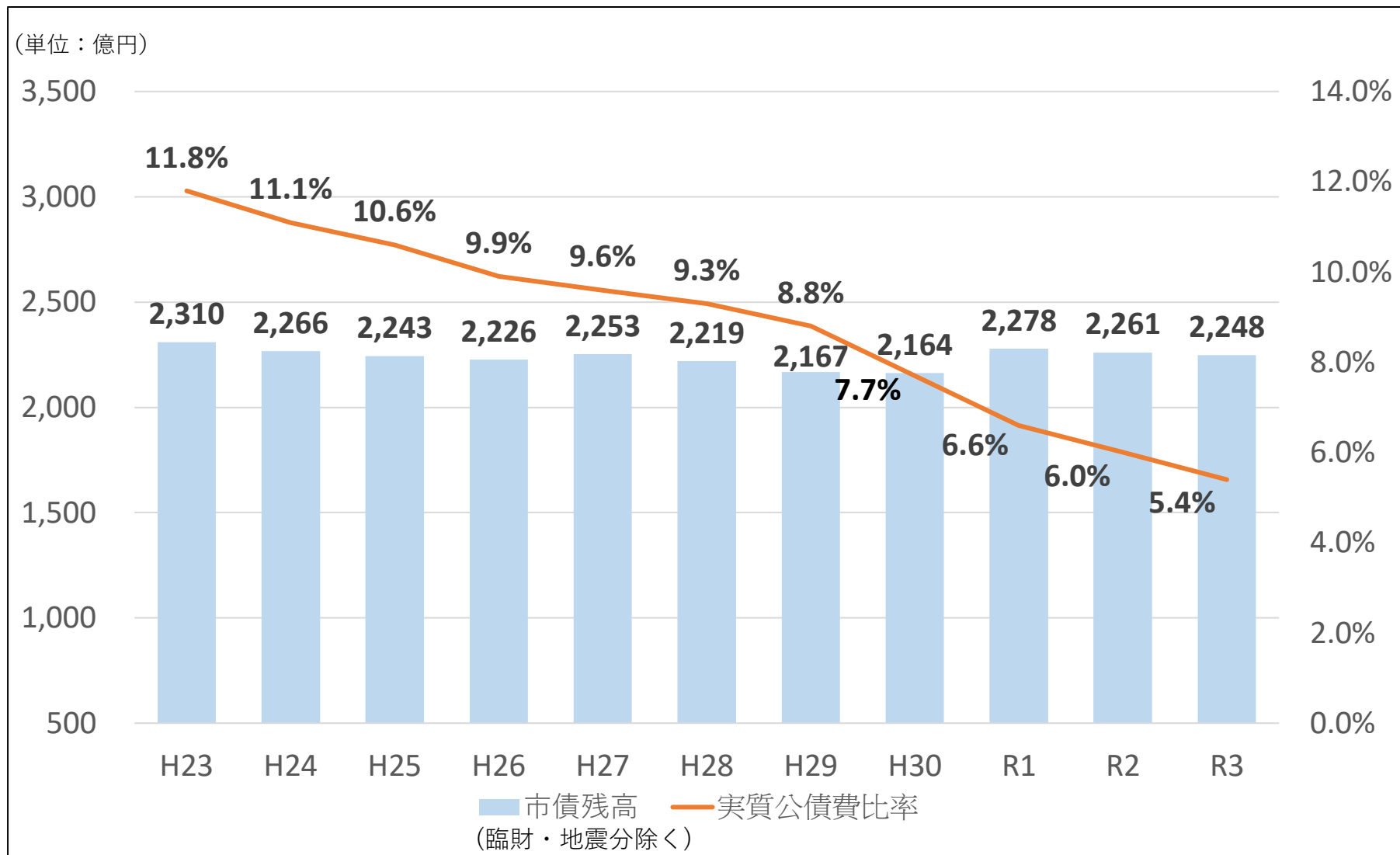
アンケート



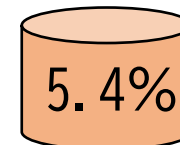
財政状況(参考)

市債残高(臨時財政対策債・地震分除く)：2,248億円

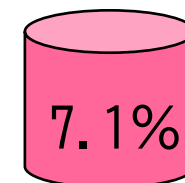
実質公債費比率：5.4% (国の早期健全化基準：25%)



実質公債費比率
(R3決算ベース)



熊本市



指定都市平均

- 「市長とドンドン語ろう！」での市民の皆様との対話
- 市民アンケートの実施
(様々な機会を捉えて、説明・ご意見をお聴きしていきます)



- 本庁舎等に関する市の案を検討・整理
(民間の提案、関係機関との協議)

皆様のご意見をお待ちしております。

テーマ 6

その他

- ・地域の課題、将来に関すること
- ・気になること
- ・市政に関するアイデア など

皆様のご意見をお聞かせください。

今回お話しさせていただいた内容については、こちらからもご意見・ご提案等をお寄せいただけます。

※令和5年8月31日(木)まで入力できます。



【お問い合わせ】

熊本市 政策企画課

TEL:096-328-2035

Mail:seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp